

授業科目名	比較文学	担当形態	講義		
		開講学期	秋学期		
担当教員	稲垣 広和	単位	2	年次	1

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

日本の近代化は西欧の文明の吸収、理解、アレンジの歴史であるといえる。「いかに西欧から学ぶか」ということと近代日本の知識人・芸術家たちは格闘してきた。本講義では実際に日本の文学作品を読みながら、その格闘の道筋を学習することによって、近代日本の思想の根底を理解、説明できることを目標とする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

履修に関しては特に条件はないが、日本の小説・映画・マンガ・アニメーション等に興味を持っている学生に受講してほしい。講義内で受講生に積極的に意見を求めるので高い問題意識を持って講義に臨んでもらいたい。また講義中に感想文を求めることもある。資料配布に関しては、当日配布のみとし資料の予備は保管しない。講義中の私語は禁止とし、他の受講生に迷惑をかけると判断した場合は退室を求める場合もある。30分以上遅刻した場合は欠席と見なし、遅刻、早退、中途退席等2回で欠席1回とする。講義中の課題や宿題については提出期限以外は提出不可とする。予習復習に関しては、講義中に指示をする。

### ＝授業の概要＝

比較文学というとなにやら外国文学と日本文学の比較検討をするだけの堅苦しいイメージがある。しかし本講義では文学や文化事象を共時的（同時代的）比較や通時的比較をすることによってさまざまな角度からアプローチをし、文学の多様性を学ぶ。

また小説を実際に読むことにより文学的、文化的課題を抽出し検討する方法を学修する。

### ＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス、シラバス（講義の目標や内容）の確認、受講方法について（キーワード）講義の概観
- 2回 第1章 比較文学概論（キーワード）比較文学と比較文化
- 3回 第2章 森鷗外「舞姫」（その1）（キーワード）作品構造理解、通読
- 4回 第2章 森鷗外「舞姫」（その2）（キーワード）内容理解、恋愛観の性差、東西の恋愛観の差異
- 5回 第2章 森鷗外「舞姫」（その3）（キーワード）立身出世（学歴社会と官僚制度）
- 6回 第3章 遠藤周作「海と毒薬」（その1）（キーワード）作品構造理解、通読
- 7回 第3章 遠藤周作「海と毒薬」（その2）（キーワード）内容理解、仏教と基督教の違い
- 8回 第3章 遠藤周作「海と毒薬」（その3）（キーワード）戦争認識について、戦争と文化の関係性
- 9回 第3章 遠藤周作「海と毒薬」（その4）（キーワード）罪と罰、東西倫理観の違い
- 10回 第4章 吉本ばなな「キッチン」（その1）（キーワード）作品構造理解、通読
- 11回 第4章 吉本ばなな「キッチン」（その2）（キーワード）家族制度という幻想、外国での評価
- 12回 第4章 吉本ばなな「キッチン」（その3）（キーワード）恋愛のゆくえ、共時的小説
- 13回 第4章 吉本ばなな「キッチン」（その4）（キーワード）小説の中のマイノリティ、幻想小説
- 14回 第5章 浅田次郎「ラブレット」（その1）（キーワード）作品構造理解、通読
- 15回 第5章 浅田次郎「ラブレット」（その2）（キーワード）俗の中の聖性、

### ＝テキスト（必携）＝

講義中に配布する

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

講義中に指示する

### **＝成績評価の方法と評価の基準＝**

期末にレポート試験を行う。また第7回終了時に中間テストとしてレポート課題を課す。  
評価はレポート（中間・期末）で60%、講義毎のリアクションペーパーで40%、出席点はなし。

### **＝その他＝**

講義中に配布する資料が多いので、専用のファイルを作成してください。また高等学校で学修する歴史（日本史および世界史）の知識が必要になる場合があります。それらを既修のものとして講義が進められる場合もありますので、必要に応じて予習・復習の課題としてください。